

## 第二渥美海丘で見られた海底地すべりとその構造 Feature of slump and associated structure observed at Daini-Atsumi knoll, the gas production test site from gas-hydrate

鈴木 清史<sup>1\*</sup>; 高山 徳次郎<sup>1</sup>; 真田 佳典<sup>2</sup>; 藤井 哲哉<sup>1</sup>  
SUZUKI, Kiyofumi<sup>1\*</sup>; TAKAYAMA, Tokujiro<sup>1</sup>; SANADA, Yoshinori<sup>2</sup>; FUJII, Tetsuya<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構, <sup>2</sup> 独立行政法人海洋研究開発機構  
<sup>1</sup>JOGMEC/TRC, <sup>2</sup>Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology

メタンハイドレートからのガス生産を実施した第一回海洋産出試験テストサイトである第二渥美海丘付近には、海底地すべりが何箇所かで見られる。これらは第二渥美海丘の隆起に伴い形成された構造と考えられ、その構造把握は重要であった。この第二渥美海丘で海洋産出試験前に実施された調査井掘削では、三次元地震探査により構造が把握された地すべり体の一つを貫通しており、地震探査で確認された構造を孔内検層と一部のコアから確認することができた。講演では、震探断面で見出された特徴と、検層やコア分析から把握された地すべり体の密度構造について紹介する。

### 謝辞

本研究は、メタンハイドレート資源開発研究コンソーシアム (MH21) によって実施された研究の一部である。発表を許可していただいた MH21・経済産業省に感謝の意を表します。

キーワード: スランプ, 三次元震探, LWD 検層, 過圧密, メタンハイドレート, 低インピーダンス  
Keywords: Slump, 3D seismic profile, LWD, Over-consolidate, Gas hydrate, Low impedance